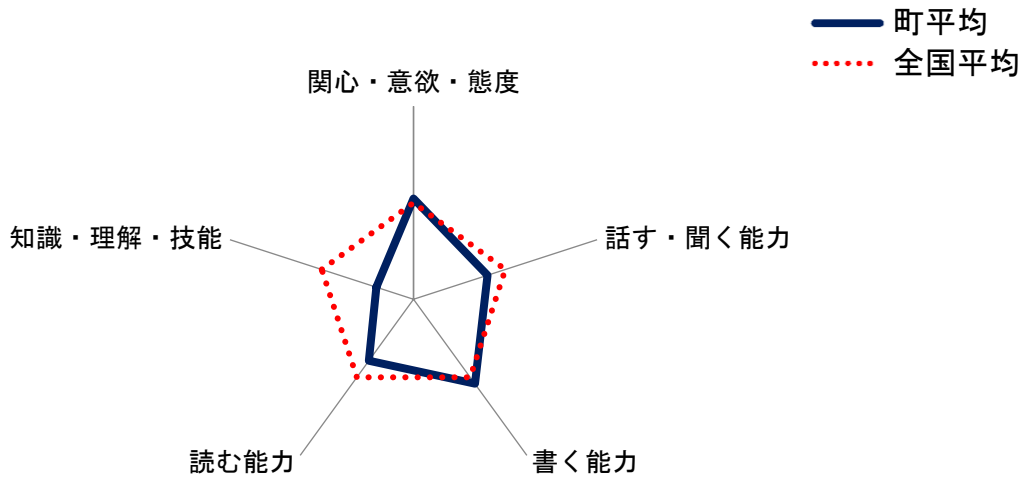
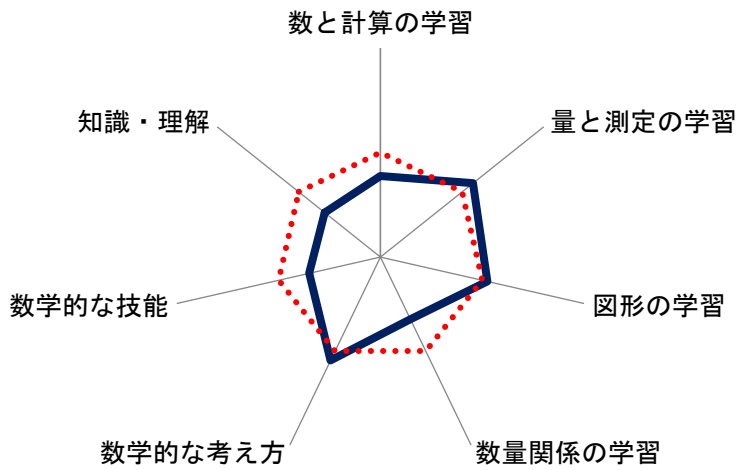


○ 教科に関する調査 (全国の平均正答率との差)

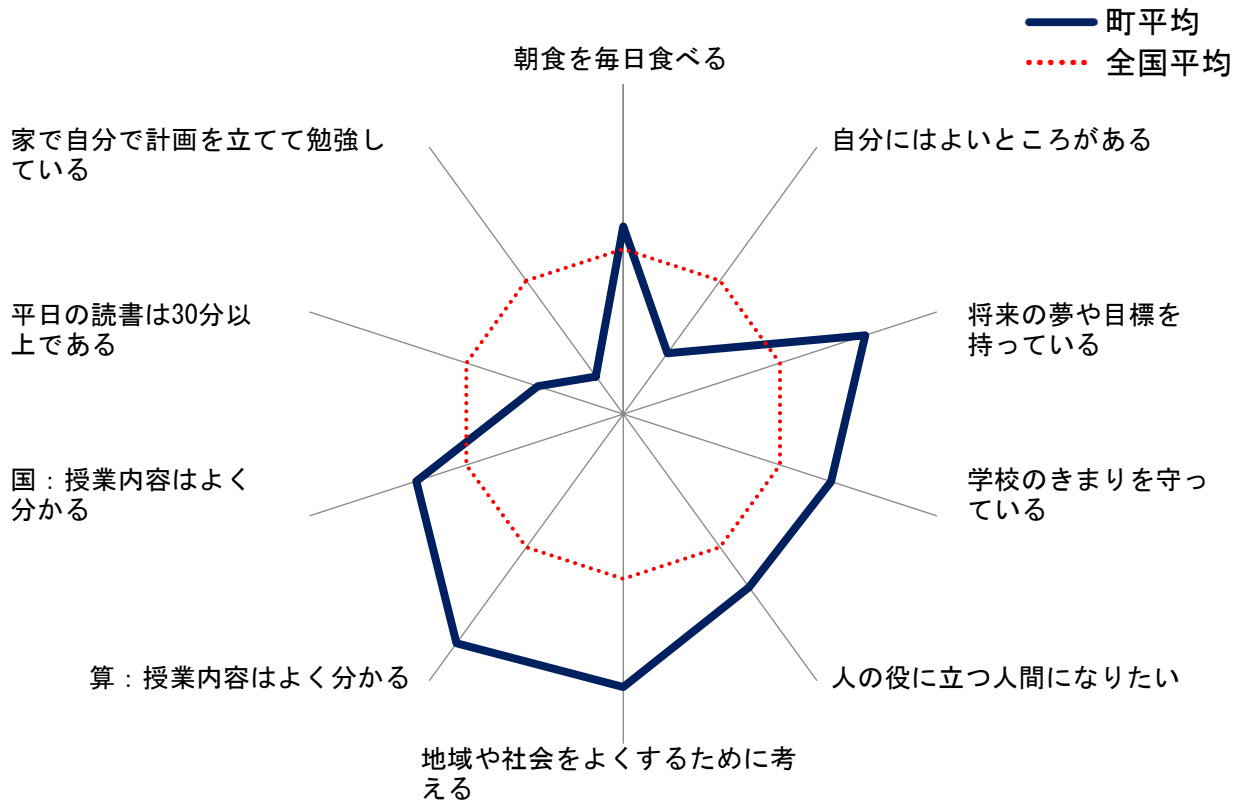
【国語】



【算数】



○ 児童質問紙調査 (全国の平均回答率との差：肯定的な回答)



○ 結果の分析と改善策

教科に関する調査では、国語、算数ともに全ての項目が全国平均とほぼ同じか下回っている。算数は「量と測定の学習」、「図形の学習」、「数学的な考え方」の項目が全国平均を上回り、改善が見られる。今後は、考える過程を大切にした授業展開を工夫し、知識と活用を一体的に捉えた学力の育成を図る取組の推進が望まれる。

児童質問紙調査では、「将来の夢や目標を持っている」、「地域や社会をよくするために考える」の各項目が全国平均を大きく上回っており、学校、家庭や地域が一体となって児童の育成に取り組んでいる様子がうかがえる。「平日の読書は30分以上である」の項目は、依然全国平均を下回っており、課題であると言える。読書に親しむ習慣づくりのために、みきゃん通帳を活用した図書館の利用促進を図るなど、児童一人一人に応じた読書活動の充実を図る指導が望まれる。